

JAFRA NEWS

公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報

Japan Association for Rail Advertising

8月号
Vol.43
2017年8月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：<http://j-jafra.jp/>

南海なんば駅は、1日平均25万人が利用するなんばエリア最大級のターミナル駅です。1994年9月の関西国際空港の開港以来、なんば駅と空港とをダイレクトに結ぶ空港特急「ラピート」の起終点駅として、大阪と世界をつなぐハブ・ステーションの役割を担ってきました。

また、同駅は、なんばCITY・なんばパークスをはじめ、高島屋大阪店などの大型商業施設が隣接しており、鉄道利用のお客さまだけでなく、活発な購買活動が期待できる消費者層が訪れる大阪・なんばエリアの中心となる立地にあります。



今年4月に生まれ変わった『なんばガレリア ツインビジョン』

大阪・なんばの新しいランドマーク 『なんばガレリア ツインビジョン』

南海なんば駅の吹き抜け空間「なんばガレリア」は、広く国内外から大阪・なんばを訪れる人々をお迎えする玄関口として親しまれております。

これまで同場所には、大壁面の横に長い空間を活かした媒体「大型グラフィックボード」を設置しておりましたが、2017年4月に、国内の駅では最大級のデジタルサイネージ『なんばガレリア ツインビジョン』として生まれ変わりました。

同媒体は、南海なんば駅3階北改札口と1階とを結ぶメイン動線上の大階段正面に位置し、55インチ・32面（約400イ

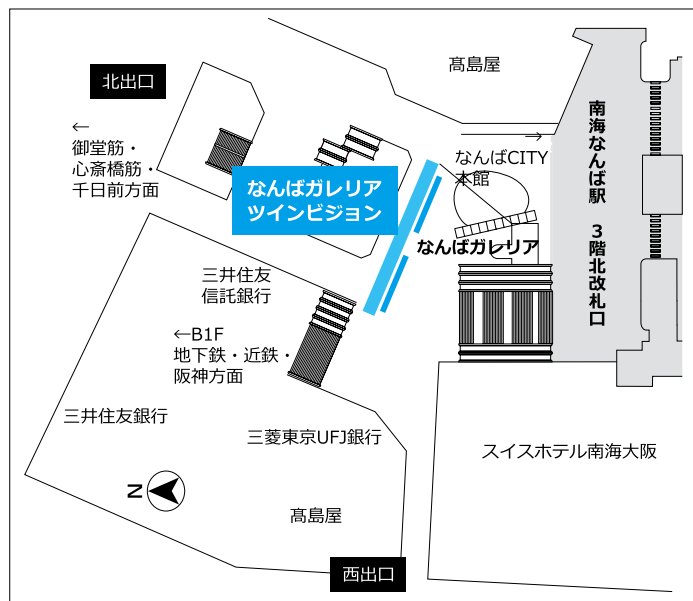
巻頭レポート

大型デジタルサイネージを大阪・なんばエリアのランドマークに。
**絶好のロケーションを最大限に活かす
『なんばガレリア ツインビジョン』**

南海電気鉄道株式会社
営業推進室 営業部 課長
河田 祐治



南海なんば駅周辺図



南海なんば駅「なんばギャラリー」設置場所

ンチ。横9・7 m×縦2・7 m)を並列で2基(音声機能付)装備した大型のデジタルサインエージです。動画・静止画・音声を使用することで、多彩なプロモーション展開にご活用いただけるようになりました。

販売開始後の4～5月の稼働率は、60%を上回る順調な滑り出しとなっており、海外エアライン、化粧品メーカー、時計メーカーなど、関西国際空港直結のエリア・マーケティングを考慮されたクライアントによる出稿が多いのが特徴です。

『なんばギャラリー ツインビジョン』は南海電鉄では初めての本格的なデジタルサインエージの導入で、なんば駅の既存媒体と連携することにより、インパクトのある大きな訴求力をご提供できると考えています。

南海電鉄のなんばエリアの求心力向上に関する取組み

なんばエリアについて

なんばエリアは5つの鉄軌道(地下鉄・JR・近鉄・阪神・南海)の8路線(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線、JR大和路線、南海本線・高野線、近鉄難波線、阪神なんば線)および大阪国際空港(伊丹)、関西国際空港へのリムジンバスが発着し、交通の結節点として1日約77万人のお客さまが行き交うロケーションにあります。また、インバウンド観光客に人気の道頓堀・日本橋エリアにも隣接しており、昼夜を問わず人通りが途絶えることはありません。

空港アクセス機能の充実

2016年には関西国際空港の年間旅客数が2500万人を超え、東京国際空港、成田国際空港に次いで国内3位の旅客数となり、アジアからの入国者数では国内1位を誇っています。

関西国際空港の旅客数増加により、なんば駅と直通運転する空港特急「ラビット」は2016年度には年間約342万人(前年比22・3%増)のお客さまにご利用いただきました。また、南海空港線では2017年1



空港特急「ラビット」

新南海会館ビル(仮称)について

2018年秋、南海なんば駅に直結した西エリアに、オフィス機能、先進・予防医療、都市型コンベンションなど新たな都市機能を備えた複合ビル「新南海会館ビル(仮称)」が竣工予定です。

南海電鉄は1885年(明治18年)の創業以来133年にわたりこの大阪・なんばの地で、地域の歴史・文化と呼応しながら多種多様な都市機

デジタルサイネージ概要

媒体名	なんばガレリア ツインビジョン
設置場所	南海なんば駅1階「なんばガレリア」
画面仕様	液晶マルチビジョン(55V型ヨコ8面×タテ4面=32面)×2基
画面サイズ	55V型×32面(約400インチヨコ約9,714×タテ約2,740mm)×2基
画面解像度	ヨコ3,840×タテ1,080Pixel(32:9/フルHD×2)
表示可能素材	動画・静止画
音響装置	あり(動画のみ) 1. スピーカーの設置箇所: 筐体前面上部 2. 音声対応時間: 放映時間に同じ(5:00~24:00)

媒体(商品)概要

放映形態	設定枠数			放映時間	期 間	開始曜日
	枠数	秒 / 枠	ロール			
1社買切り放映	随意			5:00~24:00 (19時間)	1週間	月曜日
単枠放映	24枠	15秒	6分			

放映料金

1社買切り放映	全枠:1週間全放映枠を1社買切り	/	1週間	3,500,000 円
単枠放映	1枠:15秒放映(1ロール6分)	/	1週間	200,000 円
	2枠目以降	/	1週間	150,000 円

(税別)



新南海会館ビル(仮称)完成イメージ

能の集積を図ってきました。その大きな結実として同ビルが都市・交通結節機能と有機的に結びつき「なんば活性化」の要衝となり、なんばエリアの魅力・求心力向上に努めてまいります。

今後更なる大阪・なんばのエリア価値の向上のために、新媒体の検討などに取り組んでまいります。

JAFRA会員の皆さま方には、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

商品のご質問などにつきましては
株式会社 アド南海
事業部(広告媒体担当) 向井まで
電話 06-6644-7221

広 場

「故郷？ 鹿児島のこと」

会長代行副会長 原口 宰 (株式会社ジェイアール東日本企画)

「い出身は何処ですか。」という質問に、いつも頭を悩ませている。3歳から20歳まで埼玉県の団地で育ったので「埼玉」と言ってもよさそうだが、中学から都心へ電車通学をしていた典型的な埼玉都民であり、出身地という意識は希薄である。そこで悩んだ末、「鹿児島県」と言うことにしている。両親は鹿児島で生まれ育ち、私自身も母の実家で生まれてるので、うそをついているわけではないが、生活の拠点としたことは無く、正式(?)な鹿児島出身者に申し訳ないような気がするのだ。もっとも、誘われれば「鹿児島県人会」なるものに顔を出す。幸いなことに原口姓という苗字は、鹿児島県では比較的ポピュラーで、違和感なく参加できているが、若干の後ろめたさは否

めない。

とはいえ、子供のころは毎年夏休みになると、父母の里に帰省していた。父、母ともに北薩の川内川流域の村で育った。山と川と田んぼしかない真正銘の田舎である。鹿児島の夏は暑い。日差しの強さは東京の2倍は有ろうかと思えるほど強烈だ。しかし、朝は川霧に包まれ、夕方は驟雨が大地を冷やしてくれる。メリハリの効いた気候・風土が薩摩の気質を形作っている。



鹿児島といえば桜島

ることは間違いない。鹿児島のことわざ「泣こか跳ばか、泣こよかひつ跳べ」というのがある。川を前にして、ぐずぐずと言いつつ愚痴をこぼす。まずは跳んでみるという教えである。熟考して中庸の結論を導くことより、機敏な行動力が尊ばれる。明治維新を成し遂げたパワーの源泉はこのあたりにあるのかもしれない。自身を振り返ってみても、迷ったらとりあえず進むほうを選択するという気性にももの見事に一致している。(もっとも、よく川に落ちるが。)

鹿児島の歴史、食べ物、習慣、祭りなど、語りたいことは山ほどあるが、どうやら紙幅が尽きてしまった。思うに、人は故郷のことを語るとき、もっとも饒舌になるものらしい。

次回もお楽しみに。

2017年度定期総会を開催

6月27日(火) 14時00分、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、多数の会員が出席し、2017年度定期総会を開催し、2016年度事業報告及び決算、協会役員の選任案などを審議した。

審議内容は以下のとおり。

第1号・第2号議案

2016年度事業報告及び決算報告については、田之上専務理事の説

明と、勝俊彦監事代表の監査報告の後、挙手による採決の結果、委任状

によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本議案は提案通り議決された。

第3号議案

人事異動等に伴う理事・監事の選任、常勤役員に対する退職慰労金支給

理事の任期は定款第16条1項の規定により就任後2年目の定期総会終結の時までとなっているが、2016年度定期総会後、6名の理事が人事異動等の事由により退任を希望しているのをこれを了承し、6月12日に開催した第1回理事会において承認された理事6名を下記の通り新たに選任したい。

また、監事の任期は定款第16条2項の規定により就任後4年目の定期総会終結の時までとなっているが、2016年度の定期総会後、3名の監

今木会長あいさつ

会員各社の皆様方には、平素から当協会の運営や活動に対し、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、本日はお忙しい中をご出席いただき、誠にありがとうございます。

当協会は今年度で設立12年、人間でいえば生まれてから1回転目の干支という、節目の年を迎えました。発足以来、今日までの間、鉄道広告の公益性を増進させること、世の中の変化に対応してその価値を維持向上させることという2つの大きな使命に沿って様々な活動をしてまいりました。これもひとえに、協会設立の時から大変お骨折りをいただいた諸先輩方のご努力、



あいさつする今木会長

各委員会や支部活動を進めていただいております関係の皆様方のご尽力、そして、会員各社のご理解とご協力の賜物であり、改めて、厚く御礼申し上げます。

12年目という節目の年にあたり、これはまだ全くの私案ですが、会員相互間、あるいは会員と事務局の間での双方向、場合によってはマルチ方向の情報や意見の交換をより活発にできるような仕組み作りを検

討できないかなと思っております。当協会は全国をカバーし、鉄道広告の媒体社と広告会社、そして賛助会員としての協力会社で構成されています。一方、ICT化、デジタル化全盛の時代にあっても、まだまだ鉄道広告において大きなシェアなりウエイトを占める車内中吊りやマド上、駅ばりなどいわゆる紙物、貼物を取り巻く環境条件は益々厳しさを増していると言わざるを得ません。その中で会員各社はそれぞれが独自に、あるいは場合によっては、エリアでのグループとして、様々な努力や創意工夫をされていると思います。そこで例えば、そんな取り組みや成功事例を、もちろんさしつかえのない範囲で、他の会員にも情報発信していただき、可能ならば水平展開する、そしてその結果をまたフィードバック

クする、そんなことも考えられます。また協会事務局に対するご意見をお持ちでしょうし、事務局からのよりキメ細かいタイムリーな情報連絡にも活用できると思います。具体的な仕組みとして、例えば、JAFRAホームページに会員だけがアクセスできる専用コーナーを作って、できるだけ、ワイワイガヤガヤとやっていく、そんなことができたらいかなと思っております。

もう、大分時間が経ってしまいました。今年度の会員各社の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、当協会に対する引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。挨拶とさせていただきます。



勝俊彦監事代表

月12日に開催した第1回理事会において承認された監事3名を新たに選任したい、なお、任期は定款16条3項の規定によりそれぞれ前任者の残任期間としたい。

引き続き、当協会の常勤役員田之上恵氏の退任にともなう、退職慰労金を、退職手当支給規定第1条2の規定により支給する。

と今木議長より発言があり、挙手

による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第28条に基づく過半数の賛成により、本案は提案通り議決された。

なお、常任理事及び専務理事の役職については、定款第14条2項に基づき総会終了後、臨時理事会を開き選出したものである。

〈新任〉

常任理事

那波 俊哉 (株)東急エージェンシー

専務理事

加藤 潔

公益社団法人日本鉄道広告協会

理事 (4名)

露木 香織 小田急電鉄(株)

柴田 裕子 近畿日本鉄道(株)
石津 航 東京急行電鉄(株)
今川 孝英 名古屋鉄道(株)

監事(3名)

坂野 茂 (株)毎日広告社
西崎 俊文

(株)東京メディア・サービス

山本 一広

公益社団法人日本広告審査機構

〈退任〉 6名

岩ヶ谷 光晴 上林 寛和

田之上 恵 林 誠

三宅 裕司 綿野 崇

勝 俊明 佐々 亨

矢田 武男

(敬称略)



挙手する会員社の皆さま

報告事項 2017年度事業計画

昨年度は、英国の国民投票でEU離脱派が勝利し、アメリカでもトランプ大統領が誕生するなど国際情勢での「サブライズ」が続いた。日本では熊本・大分や鳥取で発生した大きな地震のほか、気候変動が原因と見られる台風の大規模化や集中豪雨・大雪など、自然災害による大きな被害が目立つ年となった。リオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピックにおける日本勢の活躍や、東京工業大学大隅良典栄誉教授のノーベル賞受賞など、明るい話題もあったが、国内消費は将来への不安感から低調な状況が続いている。

一方、広告業界に目を転じると、インターネット広告が大きく伸長する中であって、交通広告は前年度よりわずかながら減少ということ、厳しい状況が続いている。

国際情勢の不透明感などから、今後も、我が国の景気回復が安定的に進むかどうかは予断を許さない。企業も厳しい経営環境の中、広告宣伝費を支出するにあたり、より厳しい目で広告効果と効率のよい展開を求めてくれることが予想される。

このような状況の中、2018年2月に開催される平昌(ピョンチャン)冬季大会や東京2020開催に

向けた準備などを好機として、話題性を提起しやすいという鉄道広告の特性を最大限に発揮し、存在感を高めていく必要がある。昨年度始まった首都圏11社局、関西圏7社局中づりネットワークのような商品企画などに続き、これまで以上に価値向上、創意工夫につとめていくことが大切である。

当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、特にICTの急速な発展に対応し、鉄道広告の付加価値をより高めるなど、社会的ステータスの向上を目指し、会員各社の御理解と御協力を得て、最大限の取り組みをしていきたい。

具体的な事業計画については以下のとおりであるが、その中でも公益性事業として、環境や美観風致という観点から第11回地球温暖化防止キャンペーン、倫理という観点から第7回鉄道利用マナーUPキャンペーンを、それぞれ実施していきたいと考えている。また、その他事業として、鉄道広告の技術開発という観点から、交通広告に応用可能な先端ICT技術情報の収集と共有化、人材育成の観点から「交通広告ビジネス概論2017」の発行、アカウンタビリティ向上の観点から、交通広告共通指標推定システムの充実、調査研究の観点から、e-販促データシステム

の改良と普及に、それぞれ主要課題として取り組むこととする。

1. 各委員会の主な活動目標

総務・財務委員会

- ・新規会員への入会促進
- ・支部活動活性化支援
- ・年次報告書の作成
- ・他広告団体との交流

総務・財務委員会

稲川 一委員長

議案書のとおり、新規会員への入会促進、支部活動活性化支援、年次報告書の作成、他広告団体との交流に努めていきたいと考えております。また、総務的な緊急な課題が生じましたら、ただちに協議を進めさせていただきます。

倫理委員会

- ・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーン継続実施

- ・ 広告倫理に関する事例研究の実施
- ・ 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会

神田橋治委員長

議案書に記載のとおり事業を進めてまいります。鉄道利用マナーアップキャンペーンにつきまして、簡単に説明いたします。2016年度は国土交通省の都合で見送りになりました。今年度、目の不自由な方の駅ホームからの転落事故防止に向けて鉄道利用者に声かけや見守りの重要性を伝え、声かけ、誘導案内、見守りなど実施の行動へつなげていくことを目的として、既に5月24日より7月23日の2か月間、中つり、駅貼り、LED表示、案内放送など85社局3団体において駅ホームでの声かけ見守り促進キャンペーンを実施しております。国土交通省においても当キャンペーンの重要性が非常に高まっております。既に来年度に向けてというお話もありますので全国に200近い鉄道事業者があるということですので、そういった方々への参画を働きかけてくださるそうです。JAFRAとしても積極的に取

り組むことが肝心だと考えております。

美観風致委員会

- ・ 環境委員会との共同による第11回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・ 美観事例の収集と紹介
- ・ 美観風致に関する教育研修

美観風致委員会
滝久雄委員長

環境委員会との共同で第11回地球温暖化防止キャンペーンの実施をいたします。前東京藝術大学学長宮田亮平氏、その前の平山郁夫氏の時代から当キャンペーンを全国交通広告の空き媒体を活用して展開しておりますが、反響はさすがに鉄道立国日本の鉄道ネットワークは凄いと



美観風致委員会 滝久雄委員長

いうことと、アーティストが描くポスターが一服の清涼剤となり、その時期になると、駅でポスター展が始まったということ。毎年成功裏にきています。その他、美観事例の収集と紹介、美観風致に関する教育研修を今年も行つてまいります。

環境委員会

- ・ 環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・ 「JAFRA環境方針」配布後の状況把握
- ・ 美観風致委員会との共同による第11回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会
富田栄次委員長

環境保全への取り組み状況の実態把握、「JAFRA環境方針」配布後の状況把握、美観風致委員会との共同による第11回地球温暖化防止キャンペーンの実施の3点を挙げております。今年度は引き続き会員各社の環境保全への取り組み状況の把握してまいります。具体的には昨年度実施した、会員各社

向けの「環境保全取り組み状況のアンケート」を元に、主な会員社にヒアリングをしてJAFRA環境方針配布後の状況についてまとめてまいります。また、美観風致委員会と共同で、8月に第11回地球温暖化防止キャンペーンを実施します。

安全委員会

- ・ 安全管理に関する調査研究の推進
- ・ 安全作業に関する教育研修の実施

安全委員会
佐々亨前委員長

昨年度は安全管理規則モデル集を発行しましたが、今年度に関しましては、教育研修を例年通り実施するとともに、絵で見る安全作業マニュアルが非常に好評だということですので、これからどうするか委員各社と検討してまいりたいと思います。

標準化委員会

- ・ 2017年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開



標準化委員会 大塚尚司委員長

・デジタルサイネージに関する標準化の検討

標準化委員会

大塚尚司委員長

議案書に記載のとおり、行つてまいりますのでよろしくお願いたします。

人材育成委員会

・「交通広告ビジネス概論2017」の発行

・鉄道広告実務研修の実施

・セミナー、シンポジウムの開催

人材育成委員会

小野寺忠之委員長

議案書にもありますように、「交通広告ビジネス概論2017」を3年ぶりに発行いたします

す。また、鉄道広告実務研修の実施、セミナー、シンポジウムの開催という3つの柱で活動してまいります。

技術開発委員会

・デジタルサイネージで提供する情報やコンテンツの品質向上に寄与する取り組みの紹介

・スマートフォンと交通広告の効果的な連携事例の収集と水平展開

・駅利用者（インバウンドを含む）の移動ニーズを満たす鉄道の情報提供と交通広告の連携の検討、その際に応用可能な先端ICT技術情報の収集と共有化

技術開発委員会

山本章義委員長

鉄道広告も従来のアナログの媒体から徐々に車両も駅もデジタルサイネージの整備が進んでまいりました。技術開発委員会では、こうした流れの下、デジタルサイネージで提供する情報やコンテンツの品質向上に寄与する取り組みの対応なども含め、勉強した上で紹介、併せて鉄道広告の設備という閉じた情報空間をスマートフォンと連携させ

て広めに情報を連携するという勉強をやつてまいります。また、近年インバウンドのお客様も増えておりますが更に2020年に向けてこうした流れは大きくなるものと思われ、そうしたお客様にデジタルネーじも含めて広告というだけではなく、鉄道利用のお客様に必要な情報という概念の中に広告も組み入れた最適な情報の提供のあり方といったものを勉強してまいりたいと思います。

調査研究委員会

・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進

・e・販促データシステムの改良と普及

及

・媒体活用事例の調査と紹介

・マーケティング講演会の開催

調査研究委員会

栗原圭一委員長

月1回e・販促データシステムの改良と普及ということで新しいデータを追加しております。使用者数もだいたい増えてきて、順調に普及しております。2回の説明会なども行っております。

業務近代化委員会

・業務近代化に関する課題の提言

・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会

阿部晋治委員長

引き続きアカウンタビリティ向上委員会、標準化委員会等と連携をとつてまいります。デジタルサイネージが相当普及してきてまいりましたので他のメディアで始まっておりますデジタル送稿についても今年は研究してまいりたいと思っております。



業務近代化委員会 阿部晋治委員長

PR委員会

・「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実

・ホームページを活用した、情報発

信の強化

・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設

・関係する外部機関との連携強化

PR委員会

阿久津光志委員長代理

田之上恵専務理事

2か月に1回発行しておりますJAFRA NEWSによる情報共有化に今後も進めてまいります。色々な情報がありましたらPR委員会にお寄せください。

アカウントビリティ向上委員会

・標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウントビリティ拡充・データ整備
・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
・交通広告共通指標策定システム稼働と運用及びシステム利用会員の拡大

アカウントビリティ向上委員会

大塚尚司委員長

交通広告共通指標に関しまし

て2014年度より車両メディアについて調査を開始していましたが、2016年度にユニツトの業種の分類の細分化ができました。駅媒体についても本格調査を開始しており、関係者の皆さまには今年度もお世話になることとなります、よろしくお願ひします。

2. 各支部の主な活動目標

北海道支部

- ・支部幹事会の開催…4月20日
- ・支部総会・懇親会の開催…4月20日（全日空ホテル）
- ・媒体連絡会の開催…不定期
- ・媒体視察研修会の開催…2017年秋季
- ・実務研修会（講演会）の開催…2018年冬季
- ・新規会員の入会懇漣
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施

北海道支部

幅口堅二支部長

北海道支部の活動目標として、

記載のとおりです。支部総会につきましては4月20日に実施しました。今年度につきましては、媒体連絡会、研修会、媒体視察研修も計画しております。最近の北海道の状況ですが、ようやく札幌駅にデジタルサイネージ70型ディスプレイ12面が4月から試験運用を開始、10月から本格運用という計画になっております。これらを糧に北海道支部の活動をさらに充実させていきたいと考えております。



北海道支部 幅口堅二支部長

東北支部

- ・支部総会・懇親会の開催…12月中旬
- ・支部セミナー等の開催…12月中旬
- ・新規会員の入会懇漣
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施

東北支部

若生善尚支部長代理

田之上恵専務理事

支部総会・懇親会・支部セミナーの詳細はこれから決定します。キャンペーンも取り組んでまいりますのでよろしくお願ひします。

首都圏支部

- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道広告実務研修の実施…9月下旬から10月上旬
- ・セミナーの開催…7月、11月、2018年3月の3回
- ・支部総会・懇親会の開催…7月10日 ホテルメトロポリタン
- ・地域間交流の促進
- ・新規会員の入会懇漣
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施

首都圏支部

原口宰支部長

今年度もキャンペーンの実施に力を入れてまいります。また、人財育成の見地から、鉄道広告実務研修、セミナーを7月、11月、

2018年3月の3回を計画しております。また、最大の支部ですので、新規会員の入会懇憑も中心的な役割かという自覚の下、積極的に取り組んでまいります。

中部支部

- ・支部総会・懇親会の開催…7月24日
- ・支部セミナーの開催…7月24日
- ・学生インターン・調査研究事業の実施…7月～2月予定
- ・媒体視察研修の実施…9月or 10月予定
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施

中部支部

阿久津光志支部長代理
田之上専務理事

7月24日に支部総会・懇親会・セミナーを開催する予定です。引き続き学生インターン・調査研究事業を本年度も進めてまいります。

近畿・中国・北陸支部

- ・幹事会の開催…7月5日（ホテルグランヴィア大阪）、2018年3月予定
- ・支部総会・懇親会の開催…7月5日（ホテルグランヴィア大阪）
- ・支部セミナーの開催…7月5日（ホテルグランヴィア大阪）
- ・交通広告実務研修会…9月予定
- ・地球温暖化防止全国キャンペーン実施
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施
- ・業界諸団体との連携（各媒体社広告会・OAAA・関西交通広告協議会等）
- ・新規会員の入会懇憑

近畿・中国・北陸支部
山本章義支部長

本定期総会を受けて、7月5日に支部総会・セミナー・懇親



近畿・中国・北陸支部 山本章義支部長

会を行います。セミナーでは最近走らせまして話題を呼んでおりますトワイライト瑞風の実行責任部長を講師に迎えて、瑞風の色々な取組みの紹介とマーケティングという観点からも興味深いお話をいただく予定です。その他様々な取り組みを支部としても行っておりまいます。

四国支部

- ・支部総会・懇親会の開催…6月23日 琴平 紅梅亭
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施…8月
- ・視察研修会の開催…10月
- ・支部会員交流会の開催…2018年2月
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施
- ・新規会員の入会懇憑

四国支部

田中善一郎支部長

支部総会・懇親会は既に先週6月23日に終了しました。今、人気が高まっております超豪華列車というのは各社走っておりますが、四国にも「ものがたり列車」と呼んでいる非常にコン

パクトな列車ですが、第2弾「四国まんなか千年ものがたり」が4月から走り出してあります。それに乗車し、その後、総会・懇親会を行ったというものです。他、キャンペーン、交流会など、小さな支部ですが効果的なものに務めていきたいと思ひます。

九州支部

- ・支部総会・懇親会の開催…8月
- ・支部セミナーの開催…8月
- ・支部運営会議の開催…4月、7月、2018年3月
- ・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施…8月
- ・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施
- ・JAFRA NEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化
- ・新規会員の入会懇憑

九州支部

小濱和彦支部長代理
田之上専務理事

総会・懇親会・セミナーは8月に開催予定です。年次報告書

に小濱支部長より昨年発生した熊本地震について寄稿いただきまし。引き続き、観光などでご支援よろしくお願いいたします。

3. 今後の協会行事計画

・理事会

第2回 12月(期日未定)
第3回 2018年3月(期日未定)
・年賀会 2018年1月5日(金)
広告界合同年賀会
帝国ホテル 孔雀の間

この他、2017年度予算、副支部長・委員長・副委員長の委嘱、第11回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての説明があり、以上をもって15時20分、2017年度定期総会は滞りなく終了した。

以上

なお、これに先立つ6月12日に開催した第1回理事会及び、6月27日定期総会後に開催した臨時理事会において、左記の項目が承認された。

○中部支部 副支部長
(新任)

石川 正裕
(株)電通名鉄コミュニケーションズ

(退任) 伊藤 淳五

○安全委員会 委員長

(新任)
西崎 俊文

(株)東京メディア・サービス

(退任) 佐々 亨

○技術開発委員会 副委員長

(新任)

木村 和昭

(株)JR西日本コミュニケーションズ

(退任) 井上 浩司

○アカウンタビリティ向上委員会
副委員長

(新任)

北 康夫

(株)博報堂DYアウトドア

(退任) 松尾 良太

支部長の委嘱

○東北支部 支部長

(新任)

百々 潤司

(株)ジェイアール東日本企画

(退任) 若生 善尚

○新規会員の入会承認

当協会の既会員社による入会懇望により、次の2社より入会希望があり、提出された会社概要等について審査し、2017年6月27日付で入

会を承認した。

◆正会員 中部支部

(株)ジェイアール東日本企画 中部支社

代表者名・鳥居塚 章浩

所在地・愛知県名古屋市中村区

◆正会員 近畿・中国・北陸支部

(株)ジェイアール東日本企画 関西支社

代表者名・稲葉 耕一

所在地・大阪府大阪市北区

正会員297社、賛助会員27社
計324社

(2017年6月27日現在)
以上

●セミナー



定期総会終了後、セミナーを開催した。今回は、TOMOGRAPH代表、クリエイティブディレクター

の川越智勇氏を講師にお招きし、「コミュニケーション戦略における鉄道広告とは？」というテーマで講演いただいた。

鉄道広告には、場と時間の「固有性」と「習慣性」という素晴らしい価値があります。

と話す川越氏のセミナーは、改めて発見させられることもあり、180名近くの出席した会員の皆さまは、忙しくメモを取る姿も見られ、非常に活気にあふれたセミナーだった。

●講師プロフィール



かわごえ ともたけ
川越 智勇氏

TOMOGRAPH 代表クリエイティブディレクター

1992年 旭通信社(現ADK)入社。
情報システムおよびマーケティングに所属。
クリエイティブに異動しCMプランナーからCDに。
2011年 ドリル(電通とADKの共同出資会社)に転出。
2013年 独立しTOMOGRAPH代表に。
2015年 株式会社ベストインクラスプロデューサーズ取締役に就任。

●懇親会

セミナー終了後、懇親会を開催した。

お忙しい中ご来席いただいた来賓を代表して、国土交通省鉄道局鉄道サービス政策室長 内海雄介様、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役事業創造本部長 新井健一郎様より、ご挨拶をいただいた。

国土交通省鉄道局

鉄道サービス政策室長 内海雄介様

国土交通省では、JAFRAをはじめ、鉄道事業者、団体の皆様方との連携の元で、駅ホームでの声かけ見守りキャンペーンにまさに今取り組んでいます。このキャンペーンは昨年発生した視覚障害者の方の転落事故を受け、駅などで視覚障害者の方への声かけの促進、歩きスマホ等の迷惑行為を行わないように啓発活動を図るものです。このキャンペーン



国土交通省鉄道局 内海雄介様

ンの実施にあたり、皆さまに大きなご協力をいただいたことを、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。どうもありがとうございます。また、申し上げるまでもなく、鉄道の駅、車両は多くの方が利用しており、非常に公共性が高い空間です。JAFRAで引き続きこの鉄道広告の公益性の保持に向けた取り組みを是非一丸となって進めていただこう改めて申し上げます。本日はおめでとうございます。

東日本旅客鉄道株式会社

常務取締役 事業創造本部長

新井健一郎様

私は、この1年間色々なプロジェクトをしておりましたが、その1年前まではJAFRAの理事を務めさせていただき、鉄道広告が今後どうあるべきかという研究活動であったり、セミナーであったり、様々な議



東日本旅客鉄道 新井健一郎様

論が展開されたということを記憶しています。昨今の広告業界は、ネットやSNSなどで色々な動きがありますが、鉄道広告の今後の在り方を引き続き、前向きにとらえて皆さま方と一緒に、いい方向に進めてもらえればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。この1年プロジェクトを担当していましたが、最近の駅は本当に多くのお客さまが利用されていると行くたびに感じていました。東京駅の旧通路や、品川駅の東西自由通路にはサイネージがあります。これがすごい広告効果だと思っております。鉄道の利用増と広告価値を上げるとは当然深く結びつきますので、JAFRAの色々な研究活動を充実したものに、更なる相乗効果を図ればと強く願っています。是非これから懇親会を深めていただければという鉄道広告、交通広告のあり方について議論を深めていただければという次第です。本日はどうもありがとうございます。どうぞよろしく申し上げます。

会長代行副会長の原口宰氏の、「色々お悩みの方もいるかもしれませんが、悪い風ばかりは吹きません。必ずいい風も吹くということを信じて、これからも共に頑張つてまいります。」



中締め挨拶をする滝副会長



退任した事務局田之上恵氏



乾杯の発声をする原口宰副会長

ましよう。」という乾杯の発声のあと、会員に皆さまは、和やかに歓談し親睦を深められた。

北海道支部

支部総会を開催しました

北海道支部（幅口堅二支部長）では、4月20日（金）札幌全日空ホテルに於いて、平成29年度北海道支部理事会、支部総会を19社中18社出席で開催しました。

平成29年度は支部長の改選期で、(株)北海道ジェイ・アール・エージェンシー幅口社長の支部長再任を総会一致で承認した後、

- ① 平成28年事業報告及び収支決算
- ② 会計監査
- ③ 平成29年度事業計画及び予算について

提起し、全て承認されました。

総会後、同ホテルで懇親会が開かれ、支部長に再任された幅口支部長から

「北海道新幹線開業1周年の年です。



北海道支部 幅口堅二支部長

新幹線新駅を含め新規媒体を開発して交通広告売上UPにつなげていきたい。」

と挨拶がありました。懇親会は19社中19社50名が参加し会員相互の親睦を図ることができました。

首都圏支部

支部総会を開催しました

7月10日（月）、首都圏支部（原口宰支部長）では、ホテルメトロポリタン富士の間において、46社47名（委任状による出席48社）が参加し、平成29年度JAFRA首都圏支部総会を開催しました。

原口支部長の挨拶の後、平成28年度の事業報告、平成29年度の事業計



首都圏支部総会

支部便り

画及び予算などについて報告が行われ、すべて了承されました。

総会終了後、モンデリーズジャパン株式会社（川鍋洋治様）を講師としてお招きし、「消費財メーカーのマーケティング戦略と課題から考える交通広告・メディアへの期待」と題したセミナーを開催、会員の皆さまは熱心に聴講されていました。

また、懇親会に参加された皆さまは和やかに歓談され親睦を深められていました。

詳細については以下の通りです。

◆支部総会 15時00分

■報告事項

- ① 平成28年度活動報告及び収支について
- ② 平成29年度首都圏支部幹事について

- ③ 平成29年度活動計画及び予算について

◆セミナー 16時00分

■講師 モンデリーズジャパン株式会社

取締役マーケティング本部長 川鍋洋治様

■演題 「消費財メーカーのマーケティング戦略と課題から考える交通広告・メディアへの期待」

◆懇親会 17時30分

四国支部

支部総会を開催しました

四国支部（田中善一郎支部長）では、6月23日（金）、香川県仲多度郡琴平町湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭において、14名（うち会員本人出席6名、代理人出席6名、委任状2名）が出席して2017年支部総会を開催した。

- ① 平成28年度事業報告について
 - ② 平成28年度決算について
 - ③ 平成29年度事業計画について
 - ④ 平成29年度予算について
 - ⑤ 役員改選について
- の5つの議案について審議の結果、満場一致で了承されました。

第11回「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を開催！

エキからエコ。

地球温暖化を、環境アートから考える

今年の夏休みも エキからエコ。を考えましょう

公益社団法人日本鉄道広告協会（会長・今木甚一郎、東京都渋谷区）は、今年で11回目となる「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を実施いたします。

エキからエコ。

8月の駅に、大自然の色があふれます。
美しい地球。躍動する野性動物。
日本を代表するアーティストの力作から
地球環境について考えるキャンペーンです。

エキからエコ。

CO₂排出量の少ない交通手段と言われる

列車を利用して

近くの駅から夏の旅へ。

いつかは行ってみたいと思っていた

あの場所へ今年こそ。

宮田亮平「シュプリングエン」、大津英敏「ホワイトタイガー」
手塚雄二「春雪譜」、日比野克彦「haathee」

JAFRA
Japan Association for Rail Advertising

公益社団法人 日本鉄道広告協会
<http://j-jafra.jp>

後援：環境省 国土交通省

テーマポスター

ターのメッセージは、このキャンペーンにご賛同をくださる現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方々より、今年もボランティアで提供いただきました。

夏休みの移動手段として、省エネ交通機関である鉄道を多くの方にご利用いただく際、駅、車両のポスターや駅デジタルサイネージに眼を留めていただき、旅行を共にする家族や仲間と一緒に地球温暖化防止や、環境問題について話し合ったり考えたりする時間をもっていたいただきたいと思っています。世界で起きている異常気象や、最近突然発生するゲリラ豪雨など、あらためて我々を取り巻く環境について認識していただく機会になればと考えています。

今年で11年目を迎え、また新たな10年に向けて多くの鉄道会社協力の得て、このキャンペーンを推進してまいります。

ビジュアルにこめたメッセージは、JAFRAホームページの特設サイトでご覧いただけます。昨年までの作品を閲覧できるアーカイブス、鉄道各社の環境対策、交通に関する博物館やアクティビティなども紹介しています。

夏休み、どこへ行くか考えている時、自由研究でお悩みの時も、ぜひアクセスしてください。

〈キャンペーンの概要〉

1. タイトル

第11回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン

2. 全体テーマ

「エキからエコ。地球温暖化を、環境アートから考える。」

3. ポスターテーマ

美しい環境と野生生物

4. 実施期間

2017年8月1日(火)～

8月31日(木)

5. ポスター種類

駅ポスターB0×4、B1×5種類

車内ポスターB3×4種類

駅デジタルサイネージ

6. 制作協力

ビジュアル提供…

宮田亮平氏

金工家／東京藝術大学名誉教授

「シュプリングデン」

大津英敏氏

洋画家／多摩美術大学名誉教授

「ホワイトタイガー」

手塚雄二氏

日本画家／東京藝術大学教授

「春雪譜」



大津英敏 作「ホワイトタイガー」



手塚雄二 作「春雪譜」



宮田亮平 作「シュプリングデン」



日比野克彦 作「haathee」

日比野克彦氏

アーティスト／東京藝術大学教授

「haathee」(ヒンズー語で象の意)

アートディレクター…蝦名龍郎氏

コピーライター…マキプロ

根岸礼子氏

7. 主催

公益社団法人日本鉄道広告協会

8. 協賛

財団法人日本宝くじ協会

9. 後援

環境省、国土交通省

10. 協力

小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋市交通局、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、横浜市交通局

(35社局、五十音順)

調査研究委員会 e・販促データ委員会

JAFRA ADSと交通広告共通指標推定システムの講習会を開催しました

調査研究委員会とe・販促編集委員会では、JAFRA ADS「Station AD Planner (SAP)」[Train AD Planner (TAP)]及び交通広告共通指標推定システムの講習会を昨年に引き続き、東京と大阪で開催いたしました。会員の皆さまから、講習会を同日に開催して欲しいとのこと要望が多く寄せられていたものです。両会場とも大勢の会員の皆さまにご参加いただきました。

合わせて、JAFRA ADSはe・販促会員以外の方に、7月31日までの期間限定でe・販促会員並みのフ



東京会場

ルサービスが受けられる「お試しキャンペーン」も実施し、より多くの皆様にも体験いただける機会を設けました。

交通広告共通指標推定システムは、有料会員のみ操作可能ですが、このような機会にぜひ有料会員の方に限らず、より多くの皆さまに体験していただくことで会員獲得につながれるようにしたいと考えております。

【東京会場】

6月5日(月)

ジェイアール東日本企画大会議室

14時00分～15時30分

JAFRA ADS講習会

参加者48社88名

15時40分～16時30分

交通広告共通指標推定システム講習会

参加者48社92名

【大阪会場】

6月15日(木)

JR西日本コミュニケーションズ会議室

14時00分～15時30分

JAFRA ADS講習会

参加者33社60名

15時40分～16時30分

交通広告共通指標推定システム講習会

参加者33社58名

総務・財務委員会

2016年度年次報告書を発行



総務・財務委員会(稲川一委員長)では、JAFRAの2016年度1年間の活動成果を記録としてまとめた年次報告書を今年も定期総会に併せて発行しました。JAFRAの活動報告、広告業界の動向、10回目を迎えた地球温暖化防止キャンペーンのレポート、交通広告共通指標推進プロジェクトからのプレスリリース、昨年発生した熊本地震で鉄道も被害を受けた九州支部より危機管理のレポートを収めてあります。

2017年6月27日発行
A4サイズ 92ページ 4色

編集後記

猛暑の東京から、涼を求めて東北へ行ってきました。とはいえ、夏はどこも暑いですね。それでも、目から涼を楽しむことができました。今年の夏も「これまで経験したことのないような大雨」というフレーズをよく耳にしますが、一方では、降水量が少なく渇水状態のおそれというところも…。適所に雨が降ればいいのと思います。「エキからエコ。」を見かけたら写真をお送りください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp



●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.44は10月1日発行予定です。お楽しみに。